



**Hewlett Packard
Enterprise**

HPE OneView 4.2 および 4.20.01.01 アッ プデートリリースノート

摘要

本書では、HPE OneView 4.2 の新機能、インストールとアップデート手順、および既知の制限事項について説明します。このリリースは、HPE OneView の仮想アプライアンスを使用して HPE ProLiant サーバー、HPE Virtual Connect、およびストレージシステムの構成、管理、およびトラブルシューティングを行う管理者を対象としています。

部品番号: P01318-193b
発行: 2019 年 4 月
版数: 3

ご注意

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製については、HPE から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューター・ソフトウェア、コンピューター・ソフトウェア資料、および商業用製品の技術情報は、ベンダー標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HPE 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。HPE は本文書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の商標です。

VMware®は、VMware Inc.の登録商標です。

保証

Hewlett Packard Enterprise は購入日から 90 日以内であれば、問題のある配布メディアを交換します。

目次

リリースの説明とインストール/アップデート手順.....	5
はじめに.....	5
HPЕ OneView 4.2 仮想アプライアンスにおける変更.....	5
主な特徴.....	7
アプライアンスのインストールおよびアップデート手順.....	12
アップデート後のアプライアンスのバックアップ.....	12
問題と推奨処置.....	13
BladeSystem c7000 エンクロージャーでの HP VC FlexFabric-20/40 F8 モジュールのサ ポート.....	13
匿名データが無効な場合、iSUT は FIPS と高セキュリティモードで iLO 認証情報を設定で きない.....	13
HPЕ OneView オンラインヘルプページの[検索]アイコンを使用すると、エラーが返される ..	13
HPЕ OneView のオンラインファームウェアアップデートがインストール段階で停止する.....	14
ローカライズされた論理インターコネクトグループアップリンクセットの作成ヘルプペー ジで 404 エラーが返される.....	14
サーバープロファイルの検証リターンエラー.....	14
ハイパーバイザーおよびユーザー定義のサブネットを持たないハイパーバイザークラ スタープロファイルを編集できない.....	14
HPЕ OneView UI が削除された論理スイッチを継続的に表示する.....	15
HPЕ OneView 4.2 と SPP v2019.04.0 に使用される SUT により、ファームウェアおよびド ライバーのアップデートが正常に行われぬ.....	15
HPЕ Superdome Flex によりアクセスされた場合、サーバーハードウェアのページが断続 的なエラーを返す.....	15
iLO の CNSA モードの制限事項.....	15
英語以外のディレクトリサーバーのグループ名が一部のブラウザで表示されない.....	15
HPЕ OneView 4.2 に HPЕ OneView 4.0 のローカライズされたヘルプが表示される.....	16
オンラインヘルプで指定どおりにヘルプトピックが表示されない.....	16
iLO 5 の HPЕ OneView SNMP 構成に関する問題.....	16
HPЕ OneView の Web サーバー証明書をアップデートできない.....	16
スキャンツールによって脆弱な SSH 暗号の問題が報告される.....	17
スマート検索機能またはメールアラート転送のフィルター処理が正しく動作しない.....	17
ハイパーバイザークラスタープロファイルの制限事項.....	18
ファームウェアバンドルに fwpkg ファイルをアップロードできない.....	18
ESXi FCoE Boot from SAN.....	18
サーバープロファイルテンプレート (SPT) の[編集]ダイアログボックスが応答しない.....	19
スコープ設定されたユーザーパーミッションを追加しても一貫して機能しない.....	19
特定のシナリオでは、Superdome Flex サーバーのリモートでのサポートは無効になります ..	19
REST API のドキュメントにサポートされるデバイスに関する情報が記載されていない.....	19
子タスクの詳細に関する不正確な言語表示の問題.....	20
SAN ストレージのパスを持つサーバー プロファイルに不正なアラートが表示される.....	20
サーバープロファイルに対して誤った警告アラートが表示される.....	20
サーバープロファイルを作成できない.....	20
ファイル内のデータの位置ずれ.....	21
イーサネット接続された DL シリーズラックマウント型サーバーのサーバープロファイ ルが、別の物理サーバーに再割り当てされた際にエラーを発生させる.....	21
HPЕ OneView 4.2 に関する注意事項.....	22

ドキュメントの補足	24
REST API スクリプティングヘルプを使用できなくなる.....	24
HPE OneView API リファレンス.....	24
API バージョンのサポートを削除.....	24
HPE OneView のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料	
.....	25
HPE OneView ユーザーガイド.....	25
HPE OneView サポートマトリックス.....	25
HPE OneView のトラブルシューティングガイド.....	25
HPE OneView ヘルプと HPE OneView API リファレンス.....	25
Web サイト	26
HPE OneView Remote Technician	27
サポートと他のリソース	28
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	28
アップデートへのアクセス.....	28
カスタマーセルフリペア (CSR)	29
リモートサポート (HPE 通報サービス)	29
保証情報.....	29
規定に関する情報.....	29
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	30

リリースの説明とインストール/アップデート手順

はじめに

このドキュメントでは、HPE OneView 4.2 のリリース情報を提供します。

対象読者	関連情報
すべてのユーザー	<ul style="list-style-type: none">・ 主な特徴・ ドキュメントの補足・ 関連製品および技術ドキュメントの見つけかたに関するサポートと他のリソース
新規でアプライアンスをインストールする、または HPE OneView の 4.00.05 以前のバージョンからアップグレードするユーザー	<ul style="list-style-type: none">・ アプライアンスのインストールおよびアップデート手順・ HPE OneView 4.2 を使用するための問題とその対策

HPE OneView について詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) を参照してください。

HPE OneView の以前のバージョンやアップグレードパスについて詳しくは、[HPE OneView ライフサイクルページ](#)を参照してください。

❗ **重要:** この製品には、リリースされていない製品または機能への参照が含まれる可能性があります。Hewlett Packard Enterprise は、製品や機能を商品としてリリースまたはサポートしない権利を保有します。

HPE OneView 4.2 仮想アプライアンスにおける変更

HPE OneView 4.20.01.01 バージョンは、次の目的で設計されています。

- ・ サーバーのサブリソースのインベントリコレクションが正常に完了したときに、HPE OneView によりタスクが作成されてしまった問題を解決します。
- ・ データベースのインデックスの再構築に時間がかかるため、HPE OneView のバージョン 4.1 から 4.2 へのアップグレードが停止する問題を解決します。
- ・ Web アプリケーションのデータ処理に大きな負荷がかかると、HPE OneView アプライアンスのアップグレードおよび再起動のタスクに影響が及ぶ問題を解決します。
- ・ サブリソースのコレクションプロセスを追跡するタスクを作成すると、アプライアンスのタスクテーブルにバックグラウンドのインベントリコレクションの詳細が過剰にロードされる問題を解決します。
- ・ HPE OneView バージョン 4.1 から 4.2 にアップグレードすると、既存のサーバープロファイル (SP) とサーバープロファイルテンプレート (SPT) から BIOS 設定が削除される問題を解決します。

HPE OneView 4.2 バージョンは、次の目的で設計されています。

- ・ アプライアンスが次のエラーを受信した際に、HPE OneView が再起動しないパフォーマンスの問題を解決します。パフォーマンスの問題が原因の LEGACY_CONFIG_ERROR。
- ・ HPE OneView に同じトラップ宛先の詳細を持つ簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) エントリーがあるにもかかわらず、HPE OneView が SNMP エントリーを追加してしまう問題を解決します。
- ・ ユーザーが HPE OneView の外部リポジトリを有効にしようとした際に、アプライアンスが誤ったエラーメッセージを表示する問題を解決します。
- ・ Service Pack for ProLiant (SPP) 2016.10.0 を使用した際に、HPE OneView 4.x が HPE Virtual Connect Flex-10/10D モジュールをアップグレードしない問題を解決します。
- ・ ユーザーが論理エンクロージャーグループまたは論理エンクロージャーの構成スクリプトを有効にし、HPE OneView を 3.1x から 4.1x にアップグレードした際に、論理エンクロージャーのスクリプトが正しくアップグレードされない問題を解決します。
- ・ ルートおよび中間 CA 証明書のバンドルに関連する情報がユーザーガイドで使用できない問題を解決します。
- ・ Service Pack for ProLiant (SPP) の強制フラグなしオプションを使用し、さらに同じバージョンのアクティブなファームウェアがインストールされている場合でも、Virtual Connect (VC) インターコネクットのファームウェアがステージングおよび更新される問題を解決します。
- ・ HPE OneView が無効な証明書チェーンを持つ CA 署名証明書を正常にロードしてしまう問題を解決します。
- ・ 無効な証明書チェーンを持つ CA 署名証明書がアプライアンスにロードされるたびに、HPE OneView にアラートメッセージが表示される問題を解決します。
- ・ HPE OneView 4.1x にアップグレードする前に、ユーザーがサーバーの IP アドレスを変更して、サーバーを更新しなかった場合、HPE OneView が SSL 証明書の確立のために iLO と通信するのに以前の IP アドレスの代わりに新しい IP アドレスを使用する問題を解決します。
- ・ 管理者の役割とスコープを持つユーザーが SPT (サーバープロファイルテンプレート) からサーバープロファイル (SP) を作成することができない問題を解決します。
- ・ 古いデータに基づくエイリアスの削除プロセスを実行中に、HPE OneView が SAN 停止を発生する問題を解決します。
- ・ 複数のエントリーを提供した後で、ユーザーがファームウェアインベントリを収集できない問題を解決します。
- ・ 証明書を管理するためローカル管理者認証情報を使用するユーザーが証明書を承認できない問題を解決します。
- ・ サーバープロファイルが読み取り専用モードの場合でも、ユーザーが BIOS 設定を設定できる問題を解決します。
- ・ 非標準のメモリ構成のアプライアンスが HPE OneView 4.x から 4.1x にアップグレードできない問題を解決します。
- ・ ネットワークの削除時、および新しいネットワークでのサーバープロファイルテンプレートの変更時に、ユーザーが無効なエラーメッセージを受け取る問題を解決します。
- ・ 異なる接続セットでサーバープロファイルを作成した後でも、接続が自動的に「FC ロードバランス」接続セットにデフォルトで設定される問題を解決します。
- ・ iLO を追加するときに、ハードウェアビューに iLO の完全修飾ドメイン名が表示されない問題を解決します。
- ・ 部分的なチェーンがトラストストアに存在し、リモートデバイスに残りのチェーンが表示される場合に、通信に失敗する問題を解決します。

- ・ HPE OneView 3.1x からアップグレードした後に、削除できない無名の証明書がアプライアンスに含まれる問題を解決します。
- ・ HANDSHAKE_FAILED および CONNECTION_ERROR などのネットワーク接続に関連するエラーメッセージの問題を解決します。これらの問題についてのエラーメッセージの内容が改善され、トラブルシューティングが容易になりました。
- ・ all-certificates.crt ファイルに 500 以上の証明書を含むアプライアンスで Two-Factor 認証ログインが正常に行われない問題を解決します。
- ・ 1 つの HPE 3PAR システムから別のシステムに CPG (Common Provisioning Group) とそのボリュームを移行した後に、古い HPE 3PAR システムからユーザーが CPG とそのボリュームを削除した場合でも、HPE OneView に新しいシステムではなく以前の CPG が表示される問題を解決します。
- ・ アプライアンスは、HPE ProLiant DL380 Gen10 サーバーを HPE OneView に追加する際に、アプライアンスが機能を停止する問題を解決します。
- ・ ユーザーが Internet Explorer ブラウザーを使用して HPE OneView に 4 GB より大きいイメージファイルをアップロードできない問題を解決します。
- ・ HPE OneView のハイパーバイザークラスタープロファイルからハイパーバイザーを削除できない問題を解決します。
- ・ サポートツールをインストールした後にユーザーが HPE OneView をアップグレードできない問題を解決します。
- ・ ディスク領域が不足しているため、HPE OneView が起動しない問題を解決します。
- ・ HPE 3PAR ノードをリブートする際に、ファブリック内の HPE 3PAR ノードが機能していないために、HPE OneView が HPE 3PAR ストレージボリュームにサーバープロファイルを適用することができない問題を解決します。
- ・ サーバーハードウェアをアップグレードした後、ユーザーが手動でサーバーを更新した場合でも、更新されたサーバーハードウェアのインベントリ情報が DL サーバーに見つからない問題を解決します。
- ・ MaxRepoSize 値で 100.00GB などの小数点値を外部レポジトリが処理できない問題を解決します。
- ・ ユーザーが Active Directory アカウントを使用して HPE OneView にログインしたときに、ログインセッションで時間がかかり GUI がタイムアウトする問題を解決します。
- ・ SNMP ヘルスのポーリングによって iLO からサーバーのヘルスステータスを取得できないことをアプライアンスが検出した場合に、HPE OneView で警告メッセージが表示されなかった問題を解決します。
- ・ HPE OneView が突然終了する問題を解決します。再起動中、アプライアンスにディスク領域がないため、データベースを起動できませんでした。データベースのストレージ容量が最大レベルに達したときにアプライアンスにアラートメッセージが表示されませんでした。
- ・ ユーザーが大量のアラートクエリを実行したとき、HPE OneView の応答が停止する問題を解決します。
- ・ インベントリからサーバーを削除してサーバープロファイルの割り当てを解除した後に、ユーザーがシャーシのシリアル番号を変更し、論理エンクロージャーまたはサーバーを更新した場合、アプライアンスの機能が停止した問題を解決します。
- ・ HPE OneView をアップグレードした後に、サーバープロファイルのローカルストレージに JBOD ドライバーの詳細が見つからない問題を解決します。

主な特徴

HPE ProLiant DL シリーズサーバー

・ HPE コンポーザブルクラウド機能

ProLiant DL シリーズサーバー向け HPE コンポーザブルクラウドは拡張性の高い、テンプレートベースのソリューションです。このソリューションでは、高速なソフトウェア定義の IP ファブリックを管理制御プレーンとして使用して HPE OneView の HPE ProLiant サーバーと統合します。このソリューションには、2 個、4 個、または 6 個のコンポーザブルファブリック FM 3180 ラック接続モジュールと 5.x HPE コンポーザブルファブリックマネージャーとともに、個別の HPE コンポーザブルクラウドと ProLiant DL ソフトウェアライセンスが必要です。

ProLiant DL 向け HPE コンポーザブルクラウドのソリューションの一部として、アプライアンスを購入する場合にのみ、特定の HPE OneView の機能を使用できます。このソリューションには、こうした独自の機能を使用する権利を付与する、個別の ProLiant DL 向け HPE コンポーザブルクラウドのソフトウェアライセンスが含まれます。

ライセンス付与された ProLiant DL 向け HPE コンポーザブルクラウドサーバーには、次の HPE OneView 機能が含まれますが、限定されるわけではありません。

- HPE OneView と HPE コンポーザブルファブリックマネージャーの統合。
この統合は、HPE コンポーザブルクラウド統合をアクティブ化して、HPE OneView の統合を追加することによって開始されます。
- ファブリックリソースは、HPE OneView と HPE コンポーザブルファブリックマネージャーの統合を表します。

HPE コンポーザブルファブリックマネージャーには、以下が含まれています。

- 更新
- 獲得
- 構成の再適用
- 削除
- ラック接続モジュールのタイプを持つ論理スイッチグループリソース。
- 論理スイッチリソースは、2 つのラック接続モジュールの関係を表し、物理サーバーのセットへの接続を提供します。
- ラック接続モジュールの監視とモデリングには、以下が含まれます。
 - サーバーアクセスポート
 - ファブリックポート
 - ゲートウェイポート
 - モジュールステータス
 - ポートの情報には以下が含まれます。
 - 接続情報
 - LLDP 情報
 - サーバープロファイルの関係
- 接続情報を使用したラック接続モジュールへの DL サーバーポートのマッピング。
- DL サーバーとラック接続モジュールとの誤ったケーブル接続の分析とアラートの表示。
- HPE コンポーザブルファブリックマネージャー内の VLAN グループとして自動レプリケーションを使用したネットワークセットのモデリング。

- DL サーバープロファイルテンプレート接続およびサーバープロファイルのネットワークセットを使用する場合、4000 のネットワークに対するネットワークセットのサポート。
- DL サーバーでのイーサネット接続に対するサーバープロファイルテンプレートのサポート。ネットワークとネットワークセットの両方に対応し、リンクアグリゲーショングループの有無は関係ありません。
- DL サーバーでのイーサネット接続に対するサーバープロファイルのサポート。ネットワークとネットワークセットの両方に対応し、リンクアグリゲーショングループの有無は関係ありません。
- 論理スイッチとラック接続モジュールの両方に対する関係が含まれる、プロファイル接続情報。
- ラック接続モジュールの状態、リンクの状態、およびケーブルの移動によってトリガーされるサーバープロファイル接続に関するアラート。
- サーバープロファイル接続の展開は、ラック接続モジュールへのアクセスポートで VLAN の展開およびリンクアグリゲーショングループで構成されます。
- サーバープロファイルと物理サーバーのマップビューに統合されたラック接続モジュールの接続性。

IPv6 のサポート

この機能は、HPE OneView 仮想アプライアンスとすべての管理対象のエンドノードに対する IPv6 サポートを提供します。管理アプライアンスとすべての HPE OneView の管理対象デバイスで IPv6 アドレスのみを必要とするお客様に最適です。

ラックマネージャー

ラックマネージャーサーバーの電源制御

サーバーハードウェアページからラックマネージャーサーバーの電源をオンまたはオフにすることができます。また、電源ボタンを手動で長押ししてサーバーをシャットダウンすることができます。

ラックマネージャーへの排他的アクセス

HPE OneView アプライアンスによりラックマネージャーが獲得される場合、そのアプライアンスはそのラックマネージャーへの排他的アクセスを持ちます。1 つの HPE OneView アプライアンスによって管理されるラックマネージャーが、構成設定なしで別の HPE OneView アプライアンスに追加されると、アプライアンスはラックマネージャーと通信できません。

ファンおよび電源装置インベントリ

ラックマネージャーのファンおよび電源装置インベントリは、サーバーハードウェアのページで監視されます。

サーバーハードウェアとして使用されていないシャーシ

HPE Superdome Flex サーバー内のいずれかのパーティションに追加されていないシャーシは、未使用またはスタンドアロンのシャーシと呼ばれます。このような未使用またはスタンドアロンのシャーシは、サーバーハードウェアのページに表示されます。この機能は、インベントリ検出以外の操作ではサポートされません。

ユーザーエクスペリエンスの改善

ラックマネージャーのラックビューにより、パーティション内のシャーシの関連付けを画像表示で表します。パーティションに関連付けられているシャーシの画像表示上にカーソルを動かすと、そのパーティション名が表示され、その同じパーティションに関連付けられたその他すべてのシャーシがハイライトされます。

ラックマネージャーのライフサイクルのイベント通知

ライフサイクルイベントは、パーティション、ファン、電源などのリソースの変更がある場合に送信されます。この機能では、構成パーティションの変更と、ファンや電源装置インベントリでの変更

関連付けられたライフサイクルイベントが処理されます。これらのイベントが処理される際に、対応する親リソースが更新されます。

・ HPE Superdome Flex サーバーのリモートサポート

HPE Superdome Flex サーバーはリモートサポートに対応しています。リモートサポートの設定は、ラックマネージャーのページから管理することができます。リモートサポートのデータ収集は、ラックマネージャーレベルで処理されます。特定のサーバーハードウェアが失敗すると、自動でケースが作成され、対応するサーバーハードウェアに対するサービスアラートが報告されます。

テンプレート/プロファイルの機能強化

・ サーバープロファイルテンプレートのアップデート

テンプレートから整合性のないサーバープロファイルを更新すると、サーバーの電源がオンの場合、自動更新をステージングすることができます。次回 HPE OneView 電源がオフになった場合、ユーザーは更新に関する通知を受け取り、更新を許可または延期することができます。

・ SD カードのブートオプションとワンタイムブート

- ハードディスクと、Gen9 および Gen10 サーバー用のサーバープロファイルの PXE UEFI ブートオプションに加えて、SD カードのブートオプションを利用できます。
- ワンタイムブートのサーバーオプションは、サーバーハードウェアで直接指定できます。オプションには、PXE UEFI、ハードディスク、CD、および USB が含まれます。

・ サーバープロファイルからの iLO の設定

管理者は、サーバープロファイルを介して、展開する iLO のディレクトリユーザー構成と同様に、iLO のローカルユーザー構成を定義できます。

・ FC/FCoE ブートボリュームの高可用性構成

- プライマリおよびセカンダリのブートボリュームを追加して、3PAR Peer Persistence 構成をサポートすることができます。

ストレージ

・ Nimble iSCSI の統合

- HPE OneView に Nimble Storage アレイの接続とストレージ容量の可視性を追加します。
- サーバープロファイル、サーバープロファイルテンプレート、ボリュームテンプレート、またはスタンドアロンのボリュームを通じて、HPE OneView サーバーに Nimble ボリュームプロビジョニングを追加します。
- ブート、プライベートデータ、または共有データボリューム用にサーバーから Nimble ボリュームに、サーバープロファイルとサーバープロファイルテンプレートベースの iSCSI ストレージパス構成を追加します。

・ iLO 5 インベントリの機能強化

iLO から収集されたインベントリを HPE OneView コンソールで使用できるようになりました。インベントリに追加された新しい要素には、サーバーメモリと DIMM スロット、NIC と HBA のデバイスインベントリ、およびローカルストレージ構成情報が含まれます。

セキュリティ

・ 監査ログの転送

HPE OneView は監査ログをリモートログサーバーとセキュリティ情報、およびイベント管理 (SIEM) システムに転送できます。このようなシステムを使用すると、監査コンプライアンス、監視、ログ分析、および制御された保持ポリシーを集中管理できます。

RFC5424 および RFC5426 に記載されている標準の UDP ベースの syslog プロトコルは、転送プロトコルとして使用されます。このプロトコルは、rsyslog や syslog-ng などの syslog サーバーでサポートされます。

- ・ **一時的なアラートの削減**

管理者が重大なアラートに集中できるように、HPE OneView の通常のライフサイクル操作中に生成されるアラートの数を削減します。

ネットワーク

- ・ **VC-FC マッピングのアップリンク/ダウンリンク**

管理者は、トラフィックを通過するダウンリンクにどのアップリンクポートが使用されるかを表示することができます。サーバーにパフォーマンスの問題が発生している場合、管理者はエラー表示とその他のパフォーマンスの問題についてどのアップリンクをチェックするかを把握できます。

- ・ **VC-FC 構成とスループット使用率データの可用性**

管理者は、ポートあたりの帯域幅使用率およびスループットデータを表示し、ポーリング間隔とサンプルの最大数をカスタマイズすることができます。

- ・ **論理インターコネクト (LI) は論理インターコネクトグループ (LIG) と整合性がない**

論理インターコネクト (LI) が論理インターコネクトグループ (LIG) と整合性がない場合、管理者はリソースの変更を確認するためにアップデートを取得できます。必要に応じて、管理者はリソースの詳細をチェックすることができます。

- ・ **Cisco NX-OS トップオブラック (ToR) のサポートを追加**

HPE OneView は、基本的な構成と監視のニーズに合わせて新しいバージョンの Cisco NX-OS を提供します。Cisco NX-OS トップオブラック (ToR) の詳細については、HPE OneView のサポートマトリックスを参照してください。

ファームウェア

- ・ **Gen8 および Gen9 ドライバーインベントリのサポート**

管理者は、サーバーハードウェアのページで Gen8 および Gen9 サーバーハードウェアのドライバーインベントリのリストとファームウェアインベントリを表示することができます。このリストは、サポートされているオペレーティングシステムで利用できます。このリストをオペレーティングシステム上で実行するには Agentless Management System (AMS) が必要です。

- ・ **ファームウェアアップデート時に抑制されるアラート**

サーバーハードウェア用のソフトウェアおよびファームウェアアップデート中のアラートが抑制されます。これらのアラートは、ファームウェアアップデートのメカニズムのインストールフェーズ中も抑制されます。ファームウェアアップデート中に iLO およびその他のハードウェアコンポーネントをリセットする場合に、アラームが発生します。

- ・ HPE ProLiant Gen10 および SPP 2019.03.0 に対するサポート。

- ・ **Integrated Smart Update Tools (iSUT) および iLO レポジトリを使用した ESXi ファームウェアとドライバーのアップデート**

管理者は、Gen10 サーバーと SPP 2018.11.0 以降を使用したファームウェアとドライバー、またはファームウェアのみのアップデートを適用できます。このアップデートには、iSUT for ESXi 2.3.6 以降が必要です。

- ・ **Windows、Linux、および ESXi の iLO レポジトリベースのオンライン更新に対するサポート**

iSUT は、SPP 2018.11.0 以降でファームウェアとドライバーのアップデートをステージ、インストール、およびアクティブ化するために HPE OneView で使用できるソフトウェアユーティリティを提供します。このアップデートには、iSUT 2.3.6 以降が必要です。

アプライアンスのインストールおよびアップデート手順

インストールとアップデートの手順については、[Hewlett Packard Enterprise 情報ライブラリ](#)の HPE OneView インストールガイドで「アプライアンスのアップデート」の章を参照してください。

アップデート後のアプライアンスのバックアップ

アプライアンスをアップデートした後に、バックアップファイルを作成してダウンロードします。バックアップをリストアするには、プラットフォームタイプ、ハードウェアモデル、アプライアンスのファームウェアのメジャーおよびマイナー番号が一致している必要があります。アプライアンスのファームウェアバージョンの形式は次のとおりです。

majornumber.minornumber.revisionnumber-buildnumber

リビジョン番号とビルド番号は一致しなくても構いません。

バックアップを実行する方法の詳細については、HPE OneView 4.2 ユーザーガイドを参照してください。

問題と推奨処置

ここでは、このリリースの問題と既知の制限事項について説明します。

BladeSystem c7000 エンクロージャーでの HP VC FlexFabric-20/40 F8 モジュールのサポート

問題：

HP VC FlexFabric-20/40 F8 モジュールは、BladeSystem c7000 エンクロージャー G2、または新しいバージョンでのみサポートされます。

推奨処置：

HP VC FlexFabric-20/40 F8 モジュールは、G2 または新しいエンクロージャーのみにインストールしてください。

匿名データが無効な場合、iSUT は FIPS と高セキュリティモードで iLO 認証情報を設定できない

問題

v2.3.6 以前の HPE Integrated Smart Update Tools (iSUT) が、HPE OneView 4.20 を使用する v 1.40 以降の HPE Integrated Lights Out (iLO) 5 と通信できません。ProLiant Gen 10 サーバーで構成された iLO 5 が FIPS または高セキュリティモードであり、iLO 5 の匿名データフラグが無効に設定されている場合、通信に失敗します。

通信を確立できないことによる影響：

- ・ iSUT v2.3.6 以前を使用し、iLO 5 v1.40 以降を含む SPP への iLO レポジトリベースのオンラインアップデート。
- ・ iSUT v2.3.6 以前を使用し、iLO 5 v1.40 以降を含む SPP へのオフラインアップデートの後のオンラインアップデート。

推奨処置

次のいずれかの手順を実行してください：

- ・ iLO 5 v1.40 (またはそれ以降) を含む SPP をアップデートする前に、iSUT を v2.4.0 以降にアップグレードします。
- ・ HPE iLO GUI から匿名データを有効にします (セキュリティ > アクセス設定)。
- ・ Microsoft Windows および Linux で、SPP を v2018.11.0 にアップデートするときに、iSUT v2.3.6 を削除して v2.4.0 を追加することで、カスタム SPP を作成します。

HPE OneView オンラインヘルプページの[検索]アイコンを使用すると、エラーが返される

問題

HPE OneView オンラインヘルプで単語を検索するときに[検索]アイコンを使用すると、エラーが返されません。

推奨処置

検索フィールドで検索したい単語を入力した後で、**検索アイコン**の代わりに Enter をクリックしてください。

HPE OneView のオンラインファームウェアアップデートがインストール段階で停止する

問題

HPE OneView のファームウェアアップデートが、InstallPendingReboot 状態で停止します。

推奨処置

HPE OneView の iLO コンソールから手動でサーバーをコールドブートして、アップデートプロセスを完了してください。

注記: ウォームブートの代わりにコールドブートを実行してください。

ローカライズされた論理インターコネクグループアップリンクセットの作成ヘルプページで 404 エラーが返される

問題

論理インターコネクグループアップリンクセットの作成に関する翻訳されたオンラインヘルプで「ページが見つかりません」というエラーが返されます。

推奨処置

[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) で最新のオンラインヘルプにアクセスし、使用しているタスクまたは画面に関連するキーワードを使用して検索してください。

サーバープロファイルの検証リターンエラー

問題

電源リクエストへの iLO 応答の断続的な遅延により、以下のサーバープロファイル検証エラーが返されます。

サーバーハードウェア用の電源状態を取得できません

推奨処置

リクエストを直ちに削除し、サーバープロファイルを再適用してください。

ハイパーバイザーおよびユーザー定義のサブネットを持たないハイパーバイザークラスタープロファイルを編集できない

問題

ハイパーバイザー管理ネットワークで、関連付けられているハイパーバイザーがなくサブネットが定義されていないハイパーバイザークラスタープロファイルをアップデートすることができません。

推奨処置

ハイパーバイザーの管理ネットワークのサブネットを構成し、その後ハイパーバイザークラスタープロファイルを編集してください。必要に応じて、ハイパーバイザー管理ネットワークのサブネットのアドレス範囲を構成してください。

HPE OneView UI が削除された論理スイッチを継続的に表示する

誤ったラック接続モジュールに関連付けられている論理スイッチの削除を試みるメッセージが HPE OneView UI に表示され続けます。

推奨処置：

新しい名前で新しい論理スイッチを作成し、正しいラック接続モジュールに追加します。

HPE OneView 4.2 と SPP v2019.04.0 に使用される SUT により、ファームウェアおよびドライバーのアップデートが正常に行われない

問題

SUT (Smart Update Tools) が HPE OneView バージョン 4.2 で使用されている場合に、SPP バージョン 2019.04.0 内でのファームウェアとドライバーのアップデートが正常に展開できません。また、HPE OneView はネットワーク障害のため SUT から通知を受け取りません。

推奨処置

1. 選択したサーバープロファイルでファームウェアバンドルベースラインを手動で管理に設定します。
2. プロファイル設定を手動で管理に変更した後に、以前の値に設定を変更します。

この手順により、HPE OneView の状態がリセットされます。

HPE Superdome Flex によりアクセスされた場合、サーバーハードウェアのページが断続的なエラーを返す

問題

HPE Superdome Flex がハードウェアのページにアクセスしようとする時、サーバーハードウェアのページが断続的に DataTables 警告を表示します。

推奨処置

ブラウザから、サーバーハードウェアのページを更新します。

iLO の CNSA モードの制限事項

管理対象サーバーの iLO が Commercial National Security Algorithm (CNSA) モード、またはスイート B モードの場合、HPE OneView コンソールから iLO ユーザーインターフェイスまたはコンソールにアクセスすることはできません。

英語以外のディレクトリサーバーのグループ名が一部のブラウザで表示されない

問題

ディレクトリサーバー、Active Directory、または Open LDAP が、中国語や日本語など英語以外のグループ名で構成されている場合で、Microsoft Internet Explorer 11、Firefox 57 以降、または Chrome 64 以降のブラウザが使用されている場合は、中国語または日本語のグループ名を選択した後に、グループの追加操作を行っても構成済みのグループがリストに表示されません。

推奨処置

Microsoft Edge を使用します。

HPE OneView 4.2 に HPE OneView 4.0 のローカライズされたヘルプが表示される

問題

HPE OneView 4.0 の日本語版と中国語版のオンラインヘルプが、HPE OneView 4.2 の初回リリースに含まれます。

推奨処置

最新の HPE OneView 4.2 の日本語版と中国語版のオンラインヘルプドキュメントについては、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** を参照してください。**HPE OneView 4.2 の初回パッチ**には、最新の HPE OneView 4.2 の日本語版と中国語版のオンラインヘルプが含まれます。

オンラインヘルプで指定どおりにヘルプトピックが表示されない

問題

翻訳されたオンラインヘルプ（日本語または中国語 - 簡体字）を表示すると、ユーザーインターフェイスの一部のリンクに「404 Not Found」エラーが表示されます。

推奨処置

Hewlett Packard Enterprise Information Library で最新のオンラインヘルプにアクセスし、使用しているタスクまたは画面に関連するキーワードを使用して検索してください。

iLO 5 の HPE OneView SNMP 構成に関する問題

iLO 5 が管理対象サーバーでリセットされたときに、HPE OneView の管理対象サーバーハードウェアが即時に更新された場合、SNMP の構成に一貫性がなく、iLO 5 からの SNMP トラップが HPE OneView で受信されません。

推奨処置

iLO 5 が応答を開始した後に約 1 分待ってから、HPE OneView でサーバーを再度更新してください。これにより、iLO の SNMP 設定がリストアされ、HPE OneView がサーバーの監視と管理を継続できるようになります。

HPE OneView の Web サーバー証明書をアップデートできない

問題

HPE OneView へのアップデートが、以下の場合に成功しないことがあります。

- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れている。
- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書が 24 時間以内に期限切れになる。
- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書が古い証明書に戻される。
- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書が新しい証明書として再生成される。

次のエラーメッセージが表示されます。

[エラー] アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れているか、古い証明書に戻されています。アップグレードを続行できません。新しいアプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい

CA 署名アプライアンス証明書を再インポートしてください。その後、アップデートを再度実行してください。

推奨処置

1. アプライアンスの証明書が有効であることを確認します。以下の項目は、無効な証明書を示しています。
 - ・ 証明書の有効期限が切れている場合、または証明書が 24 時間以内に期限切れになる場合。
 - ・ 証明書が SHA1 証明書の場合。
 - ・ 証明書で以前その証明書に対して構成された組織情報が失われている場合。アプライアンス証明書が期限切れになり、アップデートされた証明書をインストールする前にアプライアンスを再起動すると、一部の情報が失われる可能性があります。
 - ・ 以前は CA の署名済み証明書をインストールしていたものの、現在のアプライアンス証明書がインストール済みの証明書ではない場合。アプライアンス証明書が期限切れになり、アップデートされた証明書をインストールする前にアプライアンスを再起動すると、正しくない証明書が表示されることがあります。

このような場合は、アプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい CA 署名済み証明書をインポートしてください。
2. アプライアンス証明書が無効な場合は、新しい証明書を再生成し、新しいアプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい CA 署名アプライアンス証明書を再インポートしてください。
3. その後、アップデートを再度実行してください。

スキャンツールによって脆弱な SSH 暗号の問題が報告される

問題

Nessus などのセキュリティ脆弱性スキャンツールによって、HPE OneView の SSH サーバーが、攻撃者による暗号文からプレーンテキストメッセージへの復元が可能になる暗号ブロック連鎖 (CBC) 暗号化をサポートしていると報告されます。

推奨処置

現時点では、対処は不要です。

スキャンツールからの間違った報告です。この報告は、2008 年で検出された Secure Shell プロトコルの問題を説明する CVE-2008-5161 への参照です。ただし、この SSH プロトコルの脆弱性は HPE OneView に先行して、2009 年に修正されました。すべての HPE OneView のバージョンには、この問題に対して脆弱ではない SSH サーバーが用意されています。

CVE-2008-5161 の詳細については、<https://community.arubanetworks.com/t5/Wireless-Access/SSH-and-AES-CBC/td-p/248919> を参照してください。

スマート検索機能またはメールアラート転送のフィルター処理が正しく動作しない

スマート検索またはメールアラートフィルタリングの検索文字列に AND または OR が含まれる場合、HPE OneView は、2 つの異なるオブジェクトに対して暗黙的な AND を、2 つの類似するオブジェクトに対して OR を自動的に追加します。

例	構文	検索結果
例 1	名前またはアドレス : name:enclosure10	enclosure10 という名前のエンクロージャー。
例 2	NOT 操作 : category:alerts status:critical state:active NOTalertTypeID:trap.cpqFca2AccelBatteryFailed	alertTypeID:trap.cpqFca2AccelBatteryFailed に適用されるメッセージを除く、クリティカルステータスのすべてのメッセージ

詳しくは、HPE OneView オンラインヘルプの「リソースの検索」の項を参照してください。

ハイパーバイザークラスタープロファイルの制限事項

IP プールからのネットワークが、ハイパーバイザークラスタープロファイルの DHCP IP 割り当て用の特殊用途のネットワークとともに選択および構成された場合、DHCP 設定が無視され、IP プールによって、選択したネットワークに IP が割り当てられます。

ファームウェアバンドルに fwpkg ファイルをアップロードできない

問題

カスタム SPP を作成するために HPE OneView ファームウェアバンドルに fwpkg ファイルをアップロードしようとする、HPE OneView によりホットフィックスとして fwpkg ファイルのアップロードがサポートされないため、アップロードに失敗します。

推奨処置

.fwpkg 修正プログラムを適用するには、以下のオプションのいずれかを使用してカスタム SPP を作成します。

- ・ オプション 1 : SPP カスタムダウンロードポータルを使用して、カスタム SPP を作成する。
最新の SPP をダウンロードするには、<https://spp.hpe.com/custom> を参照してください。
- ・ オプション 2 : SUM (Smart Update Manager) を使用してカスタム ISO SPP を作成する。

詳しくは、オンラインヘルプを参照してください。

ESXi FCoE Boot from SAN

問題

ESXi 6.0 レガシードライバーを使用して Boot from SAN を実行するときに、ブート対象のサーバーを介した VLAN が削除、復元、または交換された場合、ESXi サーバーにより SAN へのアクセスが削除されます。

推奨処置

ESXi サーバーの電源をオンにしてブートするときにアップリンクセットに VLAN を復元して、SAN へのアクセスを復元してください。

サーバープロファイルテンプレート（SPT）の[編集]ダイアログボックスが応答しない

問題

サーバープロファイルテンプレート（SPT）の編集ダイアログボックスが応答しません。

推奨処置

ブラウザーのセッションを更新します。

スコープ設定されたユーザーパーミッションを追加しても一貫して機能しない

問題

ユーザーの役割が特定のスコープに更新されると、エラーが発生します。

推奨処置

スコープにユーザーを追加するとき、HPE OneView アプライアンスでエラーが発生した場合は、以下を実行して操作を再試行します。

1. まだログインしていない場合は、HPE OneView アプライアンスにログインします。
2. ユーザーとグループをクリックします。
3. 変更するユーザーの役割を選択します。
4. アクションメニューから、編集を選択します。
5. パーミッションセクションで、スコープリストから適切なスコープを追加します。
6. パーミッションを追加をクリックします。

特定のシナリオでは、Superdome Flex サーバーのリモートでのサポートは無効になります

問題

リモートサポートのマスターが断続的にオン/オフに切り替えられた際、Superdome Flex サーバーのリモートでのサポートは無効になります。

推奨処置

1. ラックマネージャーのページに移動します。
2. Actions > Refresh の順にクリックします。

Superdome Flex サーバーのリモートサポートが再度有効になります。

REST API のドキュメントにサポートされるデバイスに関する情報が記載されていない

問題

REST API のドキュメントにサポートされるデバイスに関する情報が記載されていません。

推奨処置

対応する必要はありません。サポートされるデバイスの詳細については、HPE OneView のサポートマトリックスを参照してください。

子タスクの詳細に関する不正確な言語表示の問題

問題

ブラウザロケールが日本語または簡体字中国語ロケールに設定されている場合、アクティビティページで子タスクがタスクの詳細を英語で表示します。

推奨処置

アプライアンスロケールとブラウザロケールを同じ値に設定して、一貫したローカライズされた子タスクの詳細を表示します。

SAN ストレージのパスを持つサーバー プロファイルに不正なアラートが表示される

問題

4.2 以降にアップグレードした後、ストレージシステムを更新する前にボリューム更新が発生した場合、SAN ストレージのパスを持つサーバープロファイルは、次の警告を表示します。

イニシエーター<wwn>を使用するストレージパスの構成がストレージシステムで見つかりませんでした。

ボリュームのすべてのパスにこの状態が続く場合は、次の追加の警告が表示されます。

ボリューム<ボリューム名および URI>のボリュームアタッチメントのすべてのストレージパスはクリティカルなヘルスステータスです。

推奨処置

これらのアラートは、次のバックグラウンドの更新とバックグラウンドのボリュームの更新の際に自動的に削除されます。手動で削除する場合は、ユーザーによる明示的なストレージシステムの更新とボリューム更新を順に行ってください。

サーバープロファイルに対して誤った警告アラートが表示される

問題

サーバープロファイルで次のアラートが表示されます。

All storage paths have a critical health status (すべてのストレージパスはクリティカルなヘルスステータスです)

サーバープロファイルでは、次の警告が表示されます。

Configuration for storage paths using initiator wasn't found on storage system (イニシエーターを使用するストレージパスの構成がストレージシステムで見つかりませんでした)

推奨処置

サーバープロファイルを再適用してください。すべてのパスが、それぞれのイニシエーター（接続ポート）に正しく設定されます。

サーバープロファイルを作成できない

問題

同じブラウザセッションの共有ボリュームアタッチメントを使用してプロファイルテンプレートの関連付けがないプロファイルを作成すると、エラーが発生します。

推奨処置

1. ブラウザーを更新します。
2. 共有ボリュームアタッチメントをプロファイルに追加します。

ファイル内のデータの位置ずれ

問題

ダウンロードした MAC アドレステーブルの.csv ファイルのデータ（アドレス列およびタイプ列）が正しく位置調整されません。

推奨処置

MAC アドレステーブルの.csv ファイルをダウンロードし、ヘッダーフィールド間（アドレスおよびタイプ）に不足しているデリミター「,」を追加してください。

イーサネット接続された DL シリーズラックマウント型サーバーのサーバープロファイルが、別の物理サーバーに再割り当てされた際にエラーを発生させる

サーバープロファイルがイーサネット接続された DL シリーズラックマウント型サーバーに割り当てられている状態で、同じサーバープロファイルが別の物理サーバーに再割り当てされた際にエラー状態になります。

1. サーバープロファイルを編集し、DL サーバーからサーバープロファイルの割り当てを解除した後、変更を適用します。
2. サーバープロファイルをもう一度編集し、新しい物理サーバーに割り当てます。その後、変更をサーバープロファイルに再適用してください。

HPE OneView 4.2 に関する注意事項

サポートされる iSCSI ブート構成

次のパラメーターがサポートされています。

- ・ IPv4
- ・ 静的 IP アドレスと DHCP 割当て済み IP アドレス
- ・ HW-iSCSI (iSCSI オフロード、ハードウェア支援によるイニシエーター)

iLO 4 デバイスの管理

iLO 4 を使用するデバイスを管理する場合、HPE OneView 3.0 以降は、iLO 4 ファームウェアバージョン 2.55 以降で最適に動作します。お客様のデバイスに iLO 4 ファームウェアバージョン 2.3x をお持ちの場合は、Hewlett Packard Enterprise は、お持ちの iLO 4 ファームウェアをバージョン 2.55 以降にアップデートしてから HPE OneView 3.0 以降を用いたデバイス管理を開始されることを強くお勧めします。

アダプターポートの設定

レガシー BIOS モードでサーバーブレードを使用した SAN (FC または iSCSI) から起動するサーバープロファイル接続を新規作成する場合は、アダプターのポート 1 または両方のポート (ポート 1、ポート 2) が設定されている必要があります。ポート 2 のみ設定を行った場合、誤ったデバイス (通常はローカルディスク) からサーバーが起動される原因となる場合があります。この動作は、Emulex アダプターモデル 554M、650M、554FLB、556FLB、および 650FLB に影響を与えます。

システムボードの交換

サーバーがメンテナンスのために取り外された際、ネットワークセキュリティの検証が行われていない場合は、HPE OneView (VC のように) の電源はオンになりません。新しいブレードが取り付けられている場合、HPE OneView はブレード/OA をチェックし、同じサーバー (UUID を使用) および構成が使用されているかを確認します。元のサーバーと新しくインストールしたサーバーの UUID が一致する場合は、サーバーの電源が自動的にオンになります。ただし、元のサーバーと新しくインストールしたサーバーの UUID が一致しない場合は、サーバープロファイルに新しいサーバーが認識されないことを示すエラーが表示されます。同じハードウェアタイプのサーバーがインストールされているが、HPE OneView によって認識されていない場合、再適用後にサーバーを再インストールします。新しいサーバーが、元のサーバーと一致しない場合は、サーバープロファイルを削除して正しく一致するサーバーをインストールします。

システムボードを交換する場合は、サーバーの再起動とサーバープロファイルを解除するために、UEFI システムユーティリティを介して UUID を手動で再プログラムする必要があります。サーバーの再起動後、新しいサーバーを受け入れるように UUID を再プログラムすることができます。新しいサーバーの POST サイクルが完了すると、サーバープロファイルは新しくインストールしたサーバーに再割り当てされます。

MD5 デジタル署名を使用した管理対象デバイス証明書の非推奨通知

iLO 2 管理プロセッサを搭載したサーバーなどの古いデバイスでは、MD5 ハッシュアルゴリズムに基づくデジタル署名付きのトランスポート層セキュリティ (TLS) 証明書を使用できます。このような証明書は深刻なセキュリティリスクをもたらします。MD5 アルゴリズムは、モデム証明書のデジタル署名用の SHA-256 などのセキュアハッシュアルゴリズム (SHA) スイートに置き換えられています。HPE OneView の将来のバージョンでは、これらのレガシー証明書を使用するデバイスはサポートされません。

HPE OneView /rest/certificates の REST API を使用すると、MD5 デジタル署名で証明書を使用しているデバイスを特定できます。<https://hewlettpackard.github.io/POSH-HPOneView/>から入手できる HPE OneView PowerShell インターフェイスの POSH-HPOneView を使用することができます。

不要なアラートの削減

設定 > 通知 > アラートメールフィルターを追加のアラート基準のデフォルトがすべてのアラートからすべてのクリティカルまたは警告アラートに変更されました。

すべてのアラートの通知を受信するには、**すべてのアラート**がアラート基準として選択されている必要があります。

ドキュメントの補足

次の情報は公開後に利用可能となったため、HPE OneView 4.2 のドキュメントでは表示されません。

REST API スクリプティングヘルプを使用できなくなる

2019 年 2 月以降、REST API スクリプティングヘルプは使用できなくなります。

REST API の詳細については、HPE OneView API リファレンスを参照してください。

HPE OneView API リファレンス

HPE OneView のサポートされている最小 API バージョンは、将来のリリースで変更される可能性があります。Hewlett Packard Enterprise は、新しいバージョンの HPE OneView にアップグレードする際の互換性の問題を回避するため、最新の API バージョンに移行することをお勧めします。

API バージョンのサポートを削除

サポート対象外となる API バージョンは、以下のドキュメントに記載されています。

- ・ HPE OneView サポートマトリックス
- ・ HPE OneView API リファレンス

HPE OneView のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料

Hewlett Packard Enterprise 情報ライブラリは、タスクベースのレポジトリです。インストール手順、ユーザーガイド、メンテナンスとサービスガイド、ベストプラクティス、およびその他のリソースへのリンクが含まれています。この Web サイトを使用して、次のような最新のドキュメントを入手してください。

- ・ HPE OneView のテクノロジーについて
- ・ HPE OneView アプライアンスのインストールとケーブル接続
- ・ HPE OneView コンポーネントのアップデート
- ・ HPE OneView の使用と管理
- ・ HPE OneView のトラブルシューティング

HPE OneView ユーザーガイド

HPE OneView ユーザーガイドは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報が示されています。

HPE OneView サポートマトリックス

HPE OneView サポートマトリックスは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。HPE OneView のソフトウェアおよびファームウェアの最新の要件、サポートされるハードウェア、および構成の上限を維持します。

HPE OneView のトラブルシューティングガイド

HPE OneView トラブルシューティングガイドは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。HPE OneView ハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの両方に対し、一般的な問題の解決のための情報、障害の分離と識別のための手順、問題の解決、および保守を提供します。

HPE OneView ヘルプと HPE OneView API リファレンス

HPE OneView ヘルプおよび HPE OneView API リファレンスは、HPE OneView のユーザーインターフェイスで利用できる、アクセスしやすい組み込み型のオンラインヘルプです。これらのヘルプファイルには、HPE OneView 内の一般的な問題、および問題のトラブルシューティング手順と例への「詳細情報」リンクが含まれています。

ヘルプファイルは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手可能です。

Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	http://www.hpe.com/info/enterprise/docs
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	http://www.hpe.com/support/hpsc
Hewlett Packard Enterprise Worldwide の連絡先	http://www.hpe.com/assistance
HPE OneView のドキュメント	http://www.hpe.com/info/oneview/docs
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	http://www.hpe.com/support/e-updates-ja
Customer Self Repair	http://www.hpe.com/support/selfrepair
HPE OneView FAQ ドキュメントのリモートサポート	http://h20564.www2.hpe.com/portal/site/hpsc/public/kb/docDisplay/?docId=c05245290
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス	http://www.hpe.com/storage/spock
HPE Virtual Connect のユーザーガイド	http://www.hpe.com/info/virtualconnect/docs
HPE Virtual Connect のコマンドラインリファレンス	
HPE 3PAR StoreServ ストレージ	http://www.hpe.com/info/storage
HPE Nimble Storage	https://www.hpe.com/us/en/storage/nimble.html
HPE Integrated Lights-Out	http://www.hpe.com/jp/servers/ilo
HPE BladeSystem エンクロージャー	http://www.hpe.com/info/blades-ja
HPE ProLiant サーバーハードウェアの Web サイト	<ul style="list-style-type: none">・ 一般情報 : http://www.hpe.com/info/servers-ja・ BL シリーズサーバーブレード : http://www.hpe.com/info/blades-ja・ DL シリーズラックマウント型サーバー : https://www.hpe.com/us/en/servers/rack
ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート	http://www.hpe.com/storage/whitepapers

HPE OneView Remote Technician

HPE OneView Remote Technician による問題の解決の迅速化。HPE OneView Remote Technician を使用すると、問題のトラブルシューティングおよび解決のサポートが迅速かつ容易になります。招待により、認証された HPE サポート技術者が、問題のトラブルシューティングと診断に安全な TLS 接続を通じて HPE OneView アプライアンスにアクセスします。

- ・ FTP サイトを必要としないログの直接ダウンロードなど、信頼された HPE サポート技術者が問題を診断する際に現場にいる必要がありません。
- ・ HPE OneView Remote Technician は、追加のアプリケーションなしで HPE OneView 4.1 以降に組み込まれます。
- ・ HPE OneView Remote Technician にアクセスするには、**HPE OneView の設定ページ内にある診断メニュー**を開きます。
- ・ HPE OneView Remote Support は必要ありません。

サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を表示するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。